



芦田明氏（写真左）が企画した姫路型三尺二寸仏壇



ご本尊が大型のために宮殿などは特注  
脇箱台の下台には家紋



元々安置されていた仏壇  
脇空間が何もなく、仏間空間が間延びしている



脇箱台が入ると  
仏間空間が一気に上質に変化  
仏壇の存在感が高まる



設置される脇箱台  
仏壇脇の空間を美しく埋める

姫路駅から車で北に向  
い約30分、芦田仏壇店は  
夢前町にある。  
創業は昭和三十年、木  
地師の芦田修氏により創  
業。現社長の芦田明氏は  
今年で六十歳。仏壇の企  
画提案を行う「仏間コー  
ーは三十年前から仏壇の両  
脇の隙間を隠すように入  
れる脇箱台を提案。この  
脇箱台は下台と上台で構  
成され、下台の正面には  
家紋などを入れ、掛軸収  
納などに便利な作りとな  
っている。上台は左右に  
開く扉で正面には鳳凰  
具だ。

## 仏間空間に合わせた設計 姫路型仏壇の納品 オリジナル脇箱台が好評

芦田仏壇店  
(姫路)

などの蒔絵を描く。仏壇  
本体と脇箱棚との構成で  
仏壇をより豪華に、そし  
て仏間空間をより濃密な  
内容に仕上げる。  
今回、お仏壇を納品し  
たお宅は、地元の社長様  
が安置されていたが、社  
長様が「もっと良いお仏  
壇が欲しい」ということ  
で芦田仏壇店に相談が  
あった。この三尺の金仏  
壇の脇は全くの空き空間  
であったが、新しい姫路  
型仏壇が安置され、さら  
に脇箱台が入ると、仏間  
空気が一気に変化し、荘  
厳性が高まった。  
古くから安置されてき  
たご本尊は身丈で一尺二  
寸の阿弥陀如来像だった  
ことから、宮殿等は別注  
製作仕様。正面表面は漆  
塗仕上げ、木地角木瓜、  
開き梨地、彫物本金粉、  
欄間人物淡彩色。蒔絵と  
彩色は広島伝統工芸士  
による仕事。障子金具は  
姫路型ならではの無双金  
具だ。



左側がこれまでの仏壇 右側に安置を待つ新仏壇



安置中の姫路型三尺二寸仏壇

お客様には側木地・宮  
殿・漆塗・蒔絵彩色・金  
具・組立の職人名が書か  
れた製品仕様説明書が手  
渡され、仏壇の品質が保  
証される。  
芦田社長は「これから  
もお客様に満足して頂け  
る仏壇を納め、地域の仏  
壇文化に貢献して行きた  
い」と語る。  
◎芦田仏壇店 兵庫県姫  
路市夢前町菅生潤七六四  
TEL〇七九(三三五)  
〇一五一 FAX〇七九  
一四五四